

令和7年度 事業報告書



中国四国ブロック各県支部合同災害救護訓練【11月8日(土)～9日(日)】

 **日本赤十字社** **高知県支部**
Japanese Red Cross Society



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

令和7年度 事業報告書(目次)

1 南海トラフ地震をはじめとする災害への対応	頁
(1) 救護・受援体制の確立	2
(2) 地域拠点の構築	8
2 青少年の育成	
(1) 青少年赤十字活動の強化	14
(2) 指導者対象の協議会、研修	18
3 赤十字活動の展開	
(1) 災害被災者の救援	20
(2) 国内災害義援金・海外救援金の受付状況	20
(3) 臨時救護所の開設	22
(4) 国際救援・開発協力事業	22
(5) 赤十字奉仕団の育成及び活動の活性化	23
(6) 高知県赤十字有功会との連携	26
(7) 赤十字事業啓発行事の推進	27
4 会員の増強と活動資金の募集	
(1) 会員概要	31
(2) 活動資金募集状況	32
(3) 企業・法人の理解促進	32
(4) 個人会員の拡大	32
(5) 遺贈・相続財産等への取組み	33
(6) 広報活動の強化	33
5 評議員会、アドバイザー会議	
(1) 評議員会	33
(2) アドバイザー会議	33
6 決算概要	34
7 資料【令和7年度 地区区分別活動資金実績】	35

令和7年度 事業報告

1. 南海トラフ地震をはじめとする災害への対応

南海トラフ地震をはじめとする災害の発生に備え、日本赤十字社高知県支部に救護班6班、高知赤十字病院にDMAT（災害派遣医療チーム）6チームを常設し、適切かつ迅速な災害救護活動を行うために、令和6年能登半島地震での救護経験を活かしつつ、「日本赤十字社高知県支部防災業務計画」の内容を反映させた訓練や研修等を行った。

救護員の登録・編成状況

ア 赤十字常備救護班

班名	構成組織	班員 (人)	職種別班員数(人)				
			医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事
第1班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第2班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第3班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第4班	血液センター・病院	7	1	1	2	1	2
第5班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第6班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
合 計		42	6	6	12	6	12

※その他医療救護に関する指導を目的に特命救護班1名を任命し、医療救護体制の充実を図っています。

イ 災害派遣医療チーム（DMAT）

チーム数：6チーム（医師1名、看護師2名、業務調整員1名を1チームとして算出）

構成組織	班員(人)	職種別班員数(人)		
		医師	看護師	業務調整員
赤十字病院	31	6	16（うち看護師長4）	9

※その他DMAT隊員（業務調整員）在籍状況：支部 2名、血液センター 1名

(1) 救護・受援体制の確立

災害救護は日本赤十字社の最も重要な事業であり、南海トラフ地震に向けて救護班活動の充実・強化を目標に、管下施設間及び中国四国ブロック、行政等との研修・訓練に取り組んだ。

①行政、医療機関との連携

- ・高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル

6月1日（日）、高知市高須浄化センター（メイン会場）で開催され、高知赤十字病院から救護班6名（医師1名、看護師2名、薬剤師1名、主事2名）が参加し、大規模地震災害が発生したことを想定のもと、他県支部（愛媛県）から救護班の受け入れを行い、dERU（仮設診療所）を開設し、DMAT（高知大学医学部、近森病院、高知医療センター、国立病院機構高知病院、愛宕病院）、高知市医師会の医師らとともに多数傷病者の受入訓練を実施した。

なお、併設されたフェスティバル会場では、高知市地区の赤十字奉仕団9名により炊き出し訓練が行われ、約350食の非常食を来場者に体験していただいた。さらに、安全赤十字奉仕団3名が身近なものを使った応急手当の講習を50名の方に実施した。

- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）研修

高知県健康政策部保健政策課からの依頼により、本年度より新システムに運用が移行したEMISの概要や操作方法における研修会に対し、4月22日（火）、8月19日（火）の2回、ファシリテーターとして支部職員1名を派遣した。

- ・令和7年度高知市災害医療救護訓練

10月5日（日）に細木病院、田中整形外科病院、高知整形・脳外科病院にて開催された高知市災害医療救護訓練に、高知赤十字病院より医師2名、支部職員1名を派遣した。

- ・高知県災害派遣福祉チーム（DWAT）令和7年度実地研修

高知県社会福祉協議会からの依頼により、12月17日（水）に開催された実地研修に支部職員1名を講師として派遣し、災害時の支援活動及び被災者の関わりについて講義を行い、実習にも参加した。

②本社、各県支部、県内赤十字施設との連携

（本社主催）

- ・こころのケア指導者養成研修会

被災者等に対する「こころのケア」に関する活動を充実させ、普及指導体制を強化するために開催されたこころのケア指導者の養成研修会に、高知赤十字病院から受講者を参加させるほか講師としてスタッフを派遣した。

10月22日（水）～23日（木） 受講者1名（事務職員）

11月23日（日）～24日（月） 講師1名（臨床心理士）

- ・ ころのケア指導者フォローアップ研修会

ころのケア活動を担うころのケア要員への研修内容の方向性及び活動事例の共有等を行い、指導者層の共通認識を図る目的に3月1日にオンラインにて開催された研修会に当支部所属のころケア指導者12名が参加した。なお、当日参加できなかった指導者は、後日録画データを視聴した。

- ・ 日赤災害医療コーディネート研修会

災害時に効果的・効率的に関係機関との連携及び救護班の活動調整等ができるように日赤災害医療コーディネートチームの活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に開催され、高知赤十字病院から受講者を参加させるほか講師としてスタッフを派遣した。

第1回【8月30日(土)～31日(日)】 講師1名(医師)

第2回【8月26日(金)～27日(土)】 受講者1名(臨床心理士)

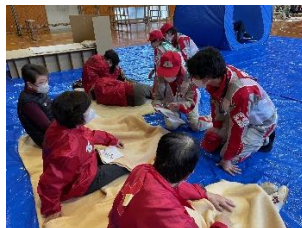
第3回【11月1日(土)～2日(日)】 講師1名(医師)

(第5ブロック(中四国)関係)

- ・ 中国四国ブロック各県支部合同災害救護訓練

11月8日(土)～9日(日)本県にて実施した。訓練前日の11月7日(金)11:00に静岡県沖を震源とする地震が発生、翌8日(土)15:30に南海トラフ地震が発生したとの想定の下、訓練を行った。

当県支部防災業務計画、防災業務受援計画に基づき、災害対策本部を設置し、他県支部から日赤災害医療コーディネートチーム、救護班を受け入れた。救護班は県内の被災地域を想定した訓練会場にて、避難所における対応や多くの傷病者を受け入れるための救護所の設置、運営を他組織の医療・福祉チームと協働して行った。また、高知県保健医療調整本部震災対策訓練を同時に実施いただき、日赤リソースの有効活用のため、日赤災害医療コーディネートチームを派遣し、連携を図ることができた。



(高知県支部主催関係)

- ・ 日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練

9月27日(土)、災害救護業務を迅速かつ適切に行うため、救護員として必要な知識・技術を習得し、救護活動の円滑な推進を図ることを目的に、高知県赤十字血液センターにおいて訓練を実施した。座学やグループワーク等に、高知赤十字病院及び高知県赤十字血液センターの医師・看護師等の救護員をはじめ、講師・スタッフ、防災奉仕団等約60名が参加した。

・救護主事対象赤十字災害救護研修会

6月11日（水）、12月15日（月）、救護主事の役割を理解し、十分な知識と技術を持った救護主事の養成を図ることを目的に2回開催した。

1回目は、車両操作の一環としてテールゲートリフター（トラック 荷台ゲートの取り扱い）を行うための特別教育を行い、高知赤十字病院から主事7名、高知県赤十字血液センターから主事1名が参加した。

2回目は、ドラッシュテントの設営、救護資器材における使用法の確認を行い、高知赤十字病院から主事5名、高知県赤十字血液センターから主事2名が参加した。

③地域への防災訓練への参加

・四万十町災害救護訓練

11月15日（土）、南海トラフ地震を想定した窪川地区での医療救護所開設・運営訓練が四万十町役場で開催され、支部から職員1名、高知赤十字病院から看護師長1名を講師として派遣した。

④救護装備・資材の整備充実

災害救護における通信面での強化を図るため、衛星携帯電話を本社整備により更新するとともに、支部事務所内に無線LAN（WiFi）環境を整備した。

また、保有する資器材について前述の「救護主事対象赤十字災害救護研修会」において、ドラッシュテント、ラップポイントイレ、蓄電池の取扱いを確認した。

その他、救護資器材として折り畳み式ホワイトボードを購入したほか、救護トラックのタイヤを更新した。

救護資器材の整備状況

ア 支部の主要救護装備

品目		数量	備考
車両		8台	救急車1台、 dERU（国内型緊急対応ユニット）1台、 災害救援車（赤色灯あり）1台 災害救援車（赤色灯なし）5台
通信環境	災害用電話	4台	高知県防災行政無線1台、 衛星携帯電話1台、携帯電話2台
	業務用無線 150メガ帯	18局	基地局1局、車載型8局、携帯型9局
	業務用無線 400メガ帯	22局	基地局1局、車載型8局、携帯型13局
	アマチュア無線局	1局	
テント		18張	エアーテント3張、ドラッシュテント1張、その他14張
発電機・投光器		9台	発電機7台、発電機付大型投光器2台

担架	23 本	担架 23 本、その他担架台 10 台
簡易ベッド	26 台	
浄水器	1 組	
自動ラップ式トイレ	12 台	
AED (自動体外式除細動器)	4 台	

イ 救護班活動用食料

品目	数量	備考
災害用備蓄食料 (レスキューフーズ)	212 食	①シチュー：68 食 ②カレーライス：72 食 ③和風ハンバーグ：12 食 ④牛丼：60 食
非常食	200 食	アルファ米
保存水	660L	①500mL×24 本×32 箱 ②2L×6 本×23 箱

救援物資の整備状況

ア 救援物資の備蓄状況 (令和 8 年 3 月末現在)

品目	在庫数	品目	在庫数
毛布	2,201 枚	タオルケット	797 枚
緊急セット	1,062 個	バスタオル	506 枚
安眠セット	542 個		



【 毛布 】



【 緊急セット 】

⑤救急法等各種講習

・各講習の活動概要

災害や日々の事故に備え、安全で健康な生活を営む方法や尊い人命を救助する知識と技術を普及するため、救急法・水上安全法・雪上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法(養成及び短期講習)や防災講習会を県内各地で実施した。

なお、本年度においても、感染予防の観点から赤十字救急法基礎講習における人工呼吸の実技は指導員のデモンストレーションを含めて実施しないことを継続した。

また、高知市教育委員会からの委託事業として、高知市内の全小学5年生を対象に心肺蘇生講習を実施し、令和6年度に発生した高知市内の学校プール事故を受け、高知県教育委員会、高知市教育委員会からの依頼により教員対象とした水泳授業における安全管理研修会を計5回実施した。

(令和元年度以降の講習等回数及び受講者数は次頁別表のとおり)

・赤十字救急法等指導員養成講習

以前より計画していた赤十字水上安全法、健康生活支援講習、救急法の指導員養成講習を開催した。9年ぶりとなる指導員養成講習を実施した水上安全法では7名、本県主催では初めての開催となった健康生活支援講習では8名、救急法では2名の指導員が新たに誕生した。

今年度は赤十字職員、警察からの受講希望があったほか、一般からの受講希望にも対応しており、今後、地域での講習普及について更なる促進が期待される。

【別表】

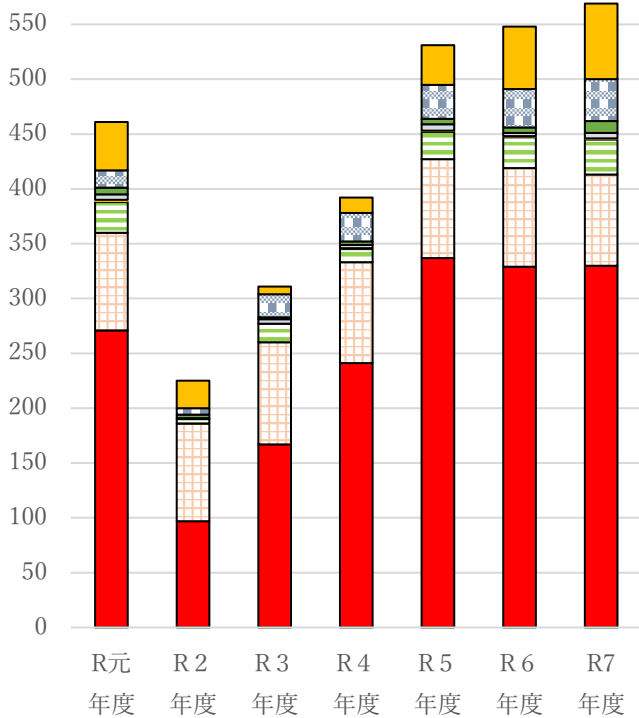
講習会の開催状況の推移

(講習等回数)

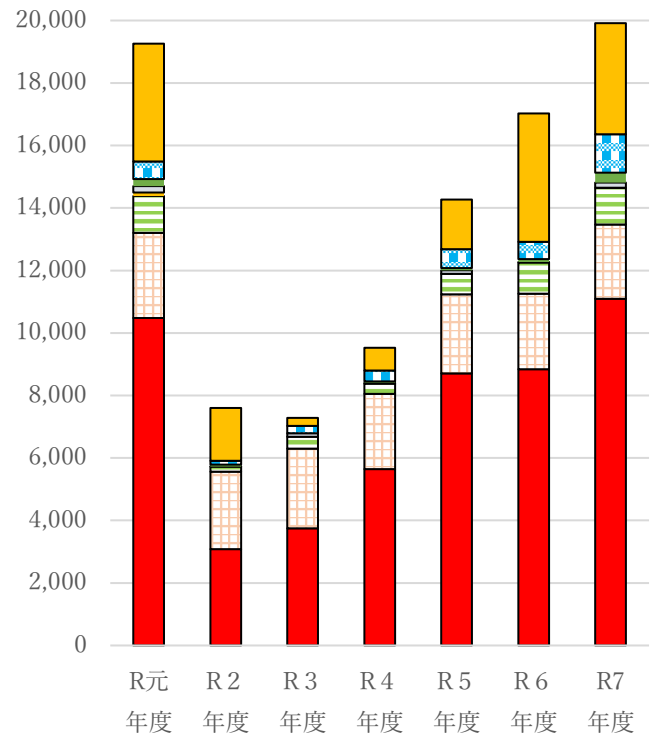
(受講者数)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	講習名	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
271	97	167	241	337	329	330	救急法講習会 (基礎含む)	10,476	3,079	3,751	5,648	8,709	8,844	11,095
89	89	93	92	90	90	83	小学5年生 心肺蘇生講習	2,724	2,483	2,544	2,402	2,530	2,409	2,375
28	4	17	12	25	28	32	水上安全法	1,180	163	383	330	652	1,002	1,167
2	0	0	1	1	1	1	雪上安全法	112	0	0	4	3	4	8
5	1	4	3	6	3	5	健康生活支援講習	206	5	111	27	114	14	169
6	3	2	3	5	5	11	避難生活支援講習 (※災害時高齢者支援 講習から名称変更)	232	52	6	38	72	96	319
16	6	21	26	31	35	38	幼児安全法	563	130	227	349	605	547	1,229
44	25	7	14	36	57	69	防災セミナー等	3,761	1,688	259	731	1,581	4,108	3,556
461	225	311	392	531	548	569	合計	19,254	7,600	7,281	9,529	14,266	17,024	19,918

講習回数の推移



受講者数の推移



- 救急法講習会
(基礎含む)
- 小学5年生
心肺蘇生講習
- 水上安全法
- 雪上安全法
- 健康生活支援講習
- 避難生活支援講習
(※旧：災害時高齢者支援講習)
- 幼児安全法
- 防災セミナー等

(2)地域拠点の構築

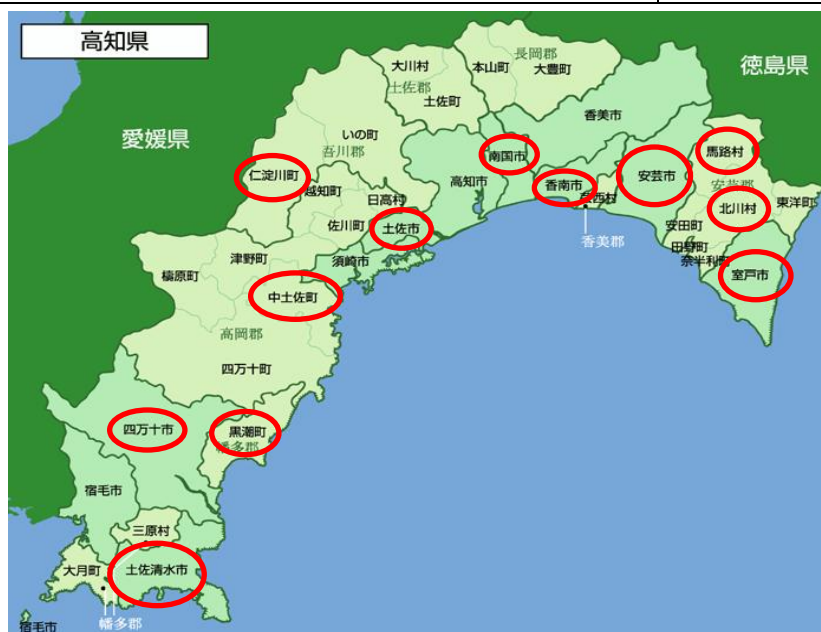
①防災に関する協定の促進と協定団体との協働

平成 27 年度から、高知県内の市町村・社協と包括的な連携・協力のもと人道的な活動を展開し、市民の安心・安全及び福祉の向上に資するため業務提携に関する協定を締結している。

日赤の知識と技術を取得した人材を地域で養成すること等により、当該人材の地域活動を通じた地域の防災・減災対策の普及や、奉仕団等との連携による迅速な災害救護活動の遂行に向けた積極的な取り組み、救急法等の一次救命処置の実践等により、地域住民の安心・安全のための活動が進むことが期待されている。

・ 協定締結先一覧

協定締結先	締結日
室戸市・室戸市社会福祉協議会	H30. 10. 25
北川村・北川村社会福祉協議会	H30. 10. 31
馬路村・馬路村社会福祉協議会	H30. 10. 31
安芸市社会福祉協議会	H27. 11. 24
香南市・香南市社会福祉協議会	H31. 04. 04
南国市・南国市社会福祉協議会	H28. 05. 11
土佐市・土佐市社会福祉協議会	R02. 10. 02
仁淀川町・仁淀川町社会福祉協議会	H30. 10. 23
中土佐町・中土佐町社会福祉協議会	H29. 02. 17
黒潮町・黒潮町社会福祉協議会	H31. 04. 26
四万十市・四万十市社会福祉協議会	H29. 05. 30
土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会	H29. 08. 08



・協定締結団体等との取り組み

協定締結地域における市町村及び社協職員、地域住民を対象とした防災や災害時の対応に関する研修のほか、四万十市では救急法救急員養成講習を開催した。

また、「NPO法人日本防災士会高知」からの依頼により応急手当の講習会を開催した。

(講習等の開催状況)

	団体名称 (市町村・社協)		開催日	内 容
1	安芸市社会福祉協議会		R07.07.14	赤十字救急法基礎講習 (短期) 社協職員 5名
			R07.09.09	赤十字防災セミナー (DIG) 社協職員、高知県立大学生 6名
2	四万十市	四万十市 社会福祉 協議会	R07.06.17	赤十字防災セミナー (ひなんじょ たいけん) 四万十市中村地区民生委員児童委 員協議会 14名
			R07.10.04	赤十字救急法基礎講習 社協職員、地域住民 4名
			R07.10.12 13	赤十字救急法救急員養成講習 社協職員、地域住民 4名 (基礎講習修了者)
			R07.11.11	赤十字救急法基礎講習 (短期) 役場職員 36名
3	馬路村	馬路村 社会福祉 協議会	R07.06.18	防災研修 奉仕団員、社協職員 12名
4	土佐市	土佐市 社会福祉 協議会	R08.02.08	令和7年度土佐市防災フェスタ 応急手当、こども救護服の着用体 験等 奉仕団員、社協職員 4名
5	NPO 日本防災士会高知		R07.11.15	応急手当講習会 防災士 12名

②防災教育の推進

・「赤十字防災セミナー」の開催

災害に備え、自助、共助のための知識を身につけてもらうことを目的に開催しており、日赤地域奉仕団や青少年赤十字加盟校などからの依頼により赤十字奉仕団員、社協職員、地域住民、学生を対象に「赤十字防災セミナー」を開催した。

【災害への備え】（4回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R07. 07. 26	高知市	IMC 若草南	6
R07. 09. 16	須崎市	須崎市立上分中学校	5
R07. 10. 26	土佐清水市	土佐清水市旭町自主防災会	30
R08. 02. 26	香美市	香美市地区土佐山田町赤十字奉仕団 「赤十字のつどい」	60

【災害図上訓練 (DIG) 】（2回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R07. 09. 09	安芸市	安芸市社会福祉協議会	6
R07. 10. 30	中土佐町	日本赤十字社高知県支部高幡地区	19

【ひなんじょたいけん】（13回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R07. 06. 17	四万十市	四万十市中村地区 民生委員児童委員協議会	14
R07. 06. 18	高知市	高知商業高等学校	37
R07. 08. 21	いの町	令和7年度高知県高校生 防災サミット第2回学習会	27
R07. 11. 22	南国市	南国市立白木谷小学校	15
R08. 01. 06	いの町	令和7年度災害時学校支援チーム員 養成講座（初級）	52

R08.01.17	大川村	大川村立大川小中学校	22
R08.01.17	高知市	高知市立一宮中学校	165
R08.01.22	本山町	本山町社会福祉協議会 職員研修	10
R08.01.29	香南市	香南市立野市中学校	106
R08.01.30	香南市	香南市立野市中学校	71
R08.02.26	高知市	高知市立青柳中学校	82
R08.03.02	高知市	高知学芸中学校	253
R08.03.18	本山町	本山町民生委員児童委員協議会	10

【エスノグラフィー】（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R08.02.26	香美市	香美市地区土佐山田町赤十字奉仕団 「赤十字のつどい」	60

【家具安全対策ゲーム（KAG）】（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R08.02.27	いの町	いの町分区日赤奉仕団合同研修会	24

【おうちのキケン】（2回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R08.01.17	大川村	大川村立大川小中学校	7
R08.01.24	本山町	本山町立吉野小学校	12

- ・防災教育事業指導者の養成

地域での防災意識の啓発に寄与するため、「赤十字防災セミナー」を指導できる指導者の養成研修を開催し、社協職員、防災奉仕団、安全奉仕団が参加、4名の新任指導者が誕生し、本県における指導者は合計で32名となった。

防災教育事業指導者養成研修（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	本県指導者数（人）	
				職員	ボランティア
R06.09.21-22	高知市	日本赤十字社 高知県支部	4	11	21

- ・「青少年赤十字防災教育」の推進

自然災害に対して自助、共助の力を身につけることを目的に本社が作成した小・中・高校生向け防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」と幼稚園・保育所向け教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を活用し、学校等からの依頼によりグループワーク等を開催している。

まもるいのちひろめるぼうさい【災害時シミュレーション】（2回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R07.04.24	高知市	土佐女子中学高等学校	109
R08.01.17	高知市	高知市立第四小学校	50

まもるいのちひろめるぼうさい【竹ひごタワー】（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R08.01.17	高知市	高知市立第四小学校	42

- ・「避難所運営ゲーム（HUG）」の開催

避難所で起こる出来事や様々な事情を抱えた避難者への対応などをゲーム形式で考える「避難所運営ゲーム（HUG）」を学校などからの依頼に応じて開催した。

【避難所運営ゲーム（HUG）】（10回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R07.07.25	高知市	高知大学教育学部附属特別支援学校	29
R07.08.19	香南市	夜須町赤十字奉仕団	15
R07.09.20	香美市	香美市役所 防災対策課	30
R07.09.28	香美市	香美市役所 防災対策課（2回実施）	56
R07.10.22	佐川町	佐川町立黒岩小学校	18
R07.11.17	いの町	いの町立伊野中学校	87
R07.11.28	香南市	香南市立夜須中学校	55
R07.12.10	奈半利町	奈半利町立奈半利中学校	64
R07.12.11	高知市	高知市立鴨田小学校	119
R08.01.17	高知市	高知市立第四小学校	59

③広域での中核人材の確保

- ・救急員・救急法指導員等養成実績

社協等との協定締結後に養成した資格及び地域については以下のとおり

養成内容（資格別）	地 域
赤十字救急法基礎講習修了者	馬路村、安芸市、土佐市、中土佐町、四万十市、土佐清水市
赤十字救急法救急員	馬路村、安芸市、中土佐町、四万十市、土佐清水市
赤十字救急法指導員	馬路村、安芸市、四万十市
赤十字幼児安全法支援員	中土佐町

- ・赤十字救急法基礎講習
市民が行う一次救命処置（心肺蘇生やAEDの使い方、気道異物除去）と手当の基本（観察、体位）について学びます。
- ・赤十字救急法救急員養成講習
一次救命処置以外の応急手当（急病の手当、止血、包帯、骨折の手当、搬送）について学びます。
- ・赤十字救急法指導員養成講習
赤十字救急法基礎講習、赤十字救急法救急員養成講習を指導する指導員資格取得のための講習です。
- ・赤十字幼児安全法支援員養成講習
子どもを大切に育てるために、乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。

2.青少年の育成

(1)青少年赤十字活動の強化

青少年が「気づき」「考え」「実行する」力を身につけ、他者へのやさしさを行動に移すことができるよう、先生方と協力しながら様々な活動を行った。

① J R C（青少年赤十字）加盟促進と活動の充実

・活動概要

(県全体の活動)

日 程	事業名	内 容
04/26 (土)	赤十字運動 月間啓発 パレード	県内 JRC 加盟高等学校のうち 2 校から、JRC メンバー 16 名・指導者 1 名が参加 赤十字の活動を PR するために帯屋町でパレード、おまち多目的広場にて街頭募金活動を行った。
06/07 (土)	高知県青少年赤十字高等学校連合会総会	県内 JRC 加盟高等学校 3 校（土佐高校・土佐女子高校・高岡高校）から 10 名と指導者 2 名が参加。 開催内容は以下のとおり。 ○令和 6 年度役員選出 ○各学校における取組み紹介・意見交換 ○グループワーク「9月の防災イベントにおける JRC ブースの展開について」
08/01 (金) ～ 08/03 (日)	高知県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	国立室戸青少年自然の家で開催。県内 JRC 加盟校から小学生 17 名、中学生 10 名、高校生 7 名、未加盟校から中学生 2 名が参加。指導者、スタッフは 15 名が参加。 楽しい雰囲気の中、アイスブレイキングや貿易ゲーム、フィールドワークなどを実施し、「気づき、考え、実行する」という主体性を身につけられるよう取り組んだ。
12/07 (日)	NHK 海外たすけあい街頭募金活動	県内 JRC 加盟校 2 校（土佐女子高・一宮東小）から JRC メンバー 2 名、奉仕団員等 11 名が参加。世界各地で多発する自然災害や武力紛争等による犠牲者の緊急支援事業等を実施するための街頭募金を帯屋町などで実施した。 募金額：47,528 円
12/21 (日)	高知県青少年赤十字研究大会	県内 JRC 加盟校 3 校（土佐中高・大方高・高知高）から合計 13 名、県教委 1 名、指導者 7 名、奉仕団員等 23 名が参加。各校の活動発表や講演を通して、高知県内の学校間の交流や青少年赤十字への理解を深めた。 内容は以下のとおり。 ○土佐中高 「2025 年度の取組み」 ○大方高 「高知県のデジタルデバインド解消を目指して～大方高校の取組～」 ○高 知 高 「朝倉防災フェスタ 2025 に参加して」 ○講 演 「高知県の国際社会人としてできること～多文化共生の視点から～」 講師：高知県国際交流協会 岩井亮子 氏



赤十字運動月間啓発パレード
(4月26日)



リーダーシップ・トレーニング・センター
(8月1日～3日)



NHK 海外たすけあい街頭募金
(12月7日)



高知県青少年赤十字研究大会
(12月21日)

(本社主催事業への参加)

日程	事業名	内容
10/30 (木) ～ 11/3 (月)	令和7年度 青少年赤十字 国際交流集会	国内外の JRC メンバーが交流を深め、「国際理解・親善」を促進するとともに、世界的な課題に対して自分たちの国や地域でどのように課題に気づき、その解決策を考え、皆で実行に移せるリーダーシップの発揮を学び、今後の活動につなげる。 土佐高等学校から1名参加。

・加盟校概要

(青少年赤十字への加盟状況) (単位：校) ※ 加盟校一覧マップ次頁

	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
高等学校	20	21	22	26	25	27
中学校	27	26	28	28	34	36
小学校	47	59	57	55	52	65
幼・保	5	7	7	12	12	15
特別支援学校	11	11	13	12	13	14
義務教育学校	-	-	-	3	4	4
合 計	110	124	127	136	140	161

(各校の活動) (抜粋)

JRC加盟校には支部職員や安全赤十字奉仕団指導員を講師として派遣し、感染対策に留意しつつ様々な活動が行われた。

救急法	心肺蘇生やAEDの使い方、応急手当等を学ぶ講習を実技・座学を交えて実施した。
水上安全法講習	水の事故からいのちを守る対処法などについて監視や着衣泳の実技講習を実施した。
防災学習	過去の大規模災害における日本赤十字社の救護活動等について伝えるとともに、南海トラフ地震等の災害に備える知識を身につける座学を実施。また、HUG（避難所運営ゲーム）を高知県内の8校で行った。
平和学習	国際人道法普及などを目的として、世界の紛争地域の子どもたちが少年兵や地雷被害などで苦しんでいる現状への理解を深める講習を実施した。

(青少年赤十字加盟校で行った各種講習会等) (単位：回)

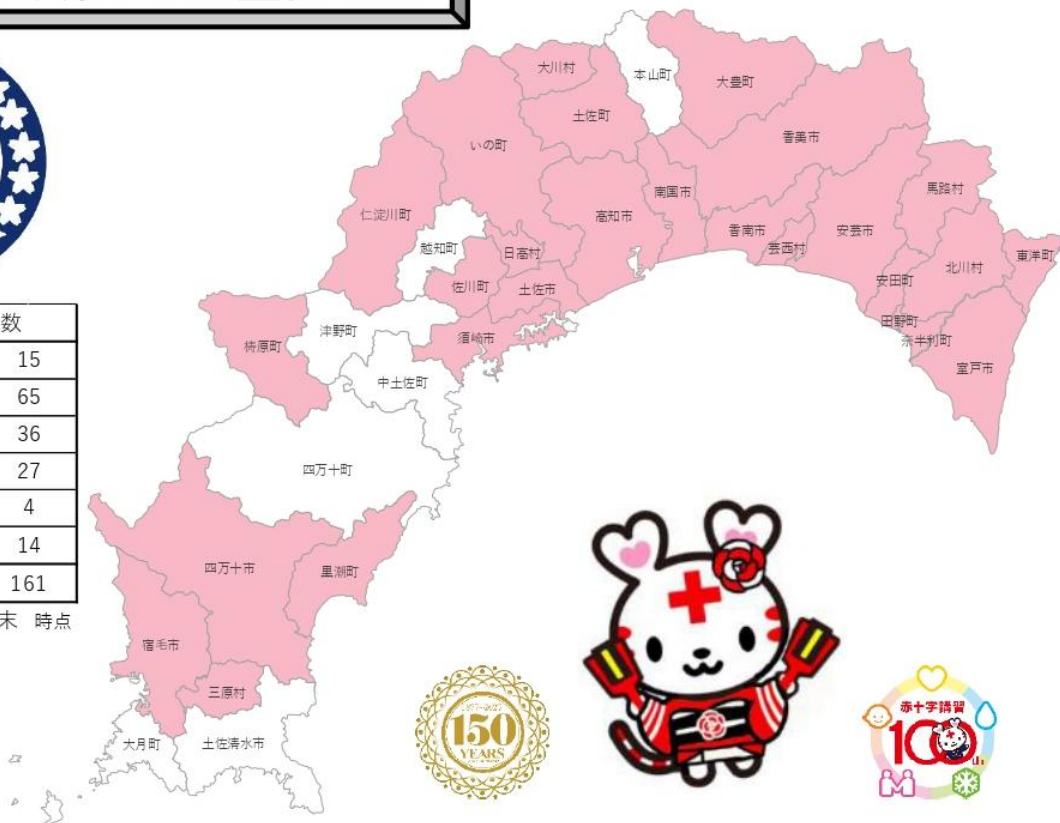
	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
救急法	55	74	94	133	131	152
水上安全法	3	9	4	16	17	19
雪上安全法	0	0	0	0	0	0
幼児安全法	0	3	4	12	10	14
防災学習等	13	8	6	15	30	33
平和学習等	4	1	3	3	3	3
新型コロナウイルスについての学習	-	2	1	0	0	0
登録式など	0	0	3	0	2	2
合 計	79	97	115	179	193	223

高知県青少年赤十字加盟校マップ



令和7年度 加盟校数	
幼・保	15
小学校	65
中学校	36
高等学校	27
義務教育学校	4
特別支援学校	14
合計	161

2026年3月末 時点



高知市

のぞみ保 びすた保・Bebeびすた 秦中央保 芸術学園幼 桜井幼 みかづき幼 杉の子幼 杉の子第二幼 杉の子せと幼 聖泉幼
 横浜新町小 鴨田小 旭小 昭和小 朝倉第二小 浦戸小 旭東小 潮江小 十津小 長浜小 布師田小 第六小 初月小 高須小
 潮江南小 五台山小 はりまや橋小 春野東小 介良潮見台小 江ノ口小 江陽小 横浜小 一ツ橋小 春野西小 大津小 一宮小
 一宮東小 朝倉小 第四小 行川学園 土佐山学会 土佐中 高知国際中夜間 高知学芸中 城北中 高知国際中 高知中 横浜中
 大津中 青柳中 高知国際高 高知小津高 土佐高 高知北高 高知学芸高 高知東高 高知丸の内高 太平洋学園高 高知商高
 高知高等学院 高知高 高知追手前高 日高特支みかづき 高知盲学校 高知江ノ口特支 高知大教育附属特支 高知ろう学校
 江ノ口特支国立高知病院 若草特支子鹿園 市立高知特支 高知若草特支

東洋町 甲浦小 甲浦中 野根中	室戸市 室戸小 吉良川小 佐喜浜小 羽根小 室戸中 佐喜浜中 室戸高	奈半利町 奈半利小 奈半利中
北川村 北川小 北川中	田野町 田野小 田野中 中芸高 山田特支田野	安田町 安田小 安田中
馬路村 馬路小 馬路中	安芸市 穴内小 市立安芸中	芸西村 芸西小
香南市 野市東こども園 野市東小 夜須小 佐古小 赤岡中 夜須中 野市中 香我美中 城山高	南国市 たちばな幼 長岡東部幼 岡豊保 日章小 後免野田小 岡豊小 希望が丘 久礼田小 稲生小 白木谷小 香長中 北陵中 希望が丘 高知農高 高知東工高 若草特支土佐希望の家	
香美市 第二土佐山田幼 山田小 楠目小 片地小 舟入小 山田高 山田高定時 山田特支	本山町 土佐町中	大豊町 大豊学園
いの町 枝川小 伊野中 伊野南中 伊野商高	日高村 日高特支	大川村 大川小中
須崎市 上分中 明德中 明德高 須崎総合高	佐川町 黒岩小 尾川小 佐川中 尾川中	土佐市 戸波小 北原小 波介小 蓮池小 土佐南中 戸波中 高岡高
仁淀川町 池川小 別府小	中土佐町 -	越知町 -
梶原町 梶原高	四万十町 -	津野町 -
四万十市 竹島小 蕨岡小 幡多農高 中村特支	宿毛市 宿毛高	黒湖町 佐賀中 大方高
土佐清水市 -	大月町 -	三原村 三原中

(2) 指導者対象の協議会、研修

○ 高知県青少年赤十字指導者協議会および高知県青少年赤十字賛助奉仕団活動

日程	講習会・研修会名	内容
05/31 (金) ～ 06/02 (日)	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	本社主催。青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者を養成することと、現在、青少年赤十字で取り組んでいるプログラムについて説明し、一層の普及を図ることを目的として開催。令和6年度は土佐高校から指導者1名参加。
07/02 (火) 14:00～15:00	高知県青少年赤十字賛助奉仕団総会	高知県青少年赤十字賛助奉仕団等5名が出席し令和5年度の事業報告、令和6年度の事業予定や取り組みについて協議した。
07/02 (火) 15:30～16:30	高知県青少年赤十字指導者協議会	高知県青少年赤十字指導者8名と賛助奉仕団2名が参加し、以下の協議を行った。 (総会) ・役員改選 ・令和5年度青少年赤十字活動実績報告 ・令和6年度青少年赤十字事業計画
07/11 (木) 07/12 (金)	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	本社主催。各都道府県の賛助奉仕団委員長が一堂に会し、指導者協議会との連携や赤十字思想の普及と防災教育の充実などについて意見を交換した。 本県からは委員長が参加。
07/12 (金)	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	本社主催。各都道府県の指導者協議会会長が一堂に会し青少年赤十字活動の普及等について意見交換を行った。 本県からは指導者協議会会長が出席した。
10/24 (木) 10/25 (金)	中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	鳥取県が担当で集合型により開催。中国・四国ブロック各県における活動や課題について協議を行い、交流を深めた。本県から委員長、職員1名が参加。
11/28 (木) 11/29 (金)	第5ブロック各県青少年赤十字指導者協議会長ならびに事務担当者会議	鳥取県が担当で集合型により開催。第5ブロック(中国・四国ブロック)における青少年赤十字の普及と充実強化を図るため、各県から提出された青少年赤十字に関する議題について意見交換が行われた。 本県は指導者協議会会長と事務担当者が参加した。

(3) 青年奉仕団

社会人、専門学校生を中心としたメンバー9名と、高知大学学生赤十字奉仕団（以下「学奉」という。）のメンバー3名で、支部主催行事への参加・運営協力などの活動を行っている。

また、メンバー募集や活動情報発信の手段として、Twitter を活用している。

（右写真）



日 時	活動名	内容
04月26日（土）	赤十字運動月間 啓発パレード	本県赤十字の活動をPRするために行った帯屋町でのパレード、おまち多目的広場での街頭募金活動に青年奉仕団員2名が参加した。
06月14日（土） 06月15日（日）	第5ブロック 青年赤十字奉仕団 連絡協議会	第5ブロックの青年奉仕団相互の情報交換及び連絡協議を通じて、各県奉仕団の発展に寄与するとともに団員の資質向上を図ることを目的として島根県で開催され、青年奉仕団から1名が参加した。
09月27日（土） 09月28日（日）	第5ブロック 青年赤十字奉仕団 研修会	今後の活動に活かせる知識と技術を習得し、団員の資質の向上を図ることを目的として開催されている。山口県で開催され、赤十字やボランティアへの理解を深め、今後の活動計画の作成等を行い、相互の親睦を図った。学奉から1名と、来年度の高知開催に向けて職員1名が参加した。
12月07日（日）	NHK 海外たすけあい 街頭募金	青奉2名が「NHK 海外たすけあい街頭募金」をJRCメンバーや地域奉仕団と一緒にいった。

3 赤十字活動の展開

(1) 災害被災者の救援

実災害への対応について、高知県支部から救護班等の派遣や、高知県支部に災害対策本部を設置する事例はなかったが、県内の災害等における被災者支援として、以下のとおり救援物資の配布を行った。

- ・住家火災による被災者（合計 24 世帯 35 名）に毛布 36 枚、緊急セット 33 個、バスタオル 34 枚を配布した。
- ・火災で亡くなられた方のご遺族に弔慰金（合計 2 件 40,000 円）を渡した。

(2) 国内災害義援金・海外救援金の受付状況

国内災害義援金や海外救援金の受付開始の際には、支部ホームページへの掲載や各地区・分区に通知し、広く県民に広報するとともに協力を受け付けている。

ア 【国内災害義援金】

No.	名称	令和 7 年度 支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金額	累計 件数	累計金額	
1	令和 6 年能登半島 地震災害義援金	17	1,613,115 円	456	159,022,445 円	R06.01.04～ R09.3.31
2	令和 6 年 9 月能登 半島大雨災害義援金	5	352,215 円	31	2,046,194 円	R06.09.25～ R09.3.31
3	令和 7 年大船渡市赤 崎町林野火災義援金	5	141,314 円	8	551,314 円	R07.03.06～ R07.06.30 終了
4	令和 7 年トカラ列島 近海を震源とする 地震災害義援金	4	2,000 円	4	2,000 円	R07.7.15～ R07.12.26 終了
5	令和 7 年台風第 8 号 に伴う災害義援金	0	0 円	0	0 円	R07.08.12～ R07.12.26 終了
6	令和 7 年 8 月 6 日か らの大雨災害義援金	5	157,875 円	5	157,875 円	R07.08.19～ R08.3.31 終了
7	令和 7 年台風第 12 号 災害義援金	2	77,800 円	2	77,800 円	R07.09.09～ R07.12.26 終了
8	令和 7 年台風第 15 号 災害静岡県義援金	1	1,000,000 円	1	1,000,000 円	R07.09.10～ R07.12.8 終了
9	令和 7 年台風第 22 号及 び第 23 号災害義援金	1	500 円	1	500 円	R07.10.22～ R08.1.30 終了
10	令和 7 年 11 月 18 日 大分市佐賀関の 大規模火災義援金	16	260,445 円	16	260,445 円	R07.11.26～ R08.3.31 終了
11	令和 7 年青森県 東方沖地震義援金	0	0 円	0	0 円	R07.12.24～ R08.1.30 終了



龍馬学園三校合同学園祭実行委員会様
(8月26日)



高校生ボランティアサークル
スマイルリング様 (3月23日)

イ 【海外救援金】

No.	名称	令和7年度 支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金額	累計 件数	累計金額	
1	中東 人道危機救援金	0	0円	3	510,200円	H27.04.01～ R09.3.31
2	バングラデシュ 南部避難民救援金	0	0円	0	510,000円	H29.09.22～ R09.3.31
3	ウクライナ 人道危機救援金	0	0円	78	2,150,421円	R04.03.02～ R09.3.31
4	2025年ミャンマー 地震救援金	16	804,159円	16	804,159円	R07.04.01～ R07.06.30 終了
5	2025年アフガニス タン地震救援金	0	0円	0	0円	R07.09.04～ R07.11.28 終了
6	2025年パキスタン 洪水救援金	1	3,000円	1	3,000円	R07.09.19～ R07.11.28 終了
7	イラン及び周辺国 人道危機救援金	0	0円	0	円	R08.03.16～ R08.5.29



高知城東病院職員一同様 (4月25日)

(3) 臨時救護所の開設

県民の皆さまが多数参加される各種行事、護国神社での祭事等のイベントに看護師、安全赤十字奉仕団等を派遣し、救護活動を行った。

令和7年度の実績は次のとおり。

日 時	内 容
04/02 (木)	護国神社春季大祭
08/10 (日) ~ 08/11 (月)	よさこい祭り
10/18 (土)	フィリピン戦域戦没者慰霊祭
11/02 (日)	護国神社秋季大祭
11/07 (金)	第49回中・四国身体障害者福祉大会 (こうち大会)
02/15 (日)	高知龍馬マラソン 2026

○常設医薬品の設置

航空機や空港施設を利用される方などの「もしもに備えて」高知龍馬空港の総合案内に救急箱を設置している。

(4) 国際救援・開発協力事業

中国・四国9県の赤十字支部の国際救援活動として、「アジア・大洋州給水・衛生キット事業」に700万円の資金援助を行い、高知県支部から560,859円を拠出した。



キット：浄水ユニット、タンク、浄水剤、水質検査キット、簡易トイレ設置用資材、衛生教育用資材など

世界各地で多発する大規模災害や紛争に伴う緊急救援や開発途上国、災害常襲地への開発協力などを実施するため、12月にNHKの協力のもと「第42回海外たすけあい寄付金募集」キャンペーンを行った。

○ 募集実績額

	取扱件数	実績額
高知県支部実績分	650 件	3,199,976 円
全国受付分 (高知県支部を含む)	81,828 件	872,323,696 円

(5) 赤十字奉仕団の育成及び活動の活性化

奉仕団結成状況（令和8年3月末時点）

種 別	団 数	団 員 数
地域奉仕団	31	2,934名
特殊奉仕団	10	248名
青年奉仕団	2	12名
合 計	43	3,194名



ア 地域奉仕団

(ア) 活動資金募集

5月の赤十字運動月間に限らず、各市町村の状況に応じて時期を変えて奉仕団員が地域内の家庭や企業等を訪問またイベントなどで募金活動を行い、赤十字活動への理解と赤十字の活動資金の増強に向けて取り組んだ。

(イ) 令和7年度 奉仕団活動重点項目

以下の重点項目を掲げ取り組んだ。

- ① 赤十字の見える化を図る
- ② 地域住民を対象とした奉仕団主催の活動を積極的に実施する
- ③ JRC（青少年赤十字）活動への支援と加盟校の拡大に努める
- ④ 各ブロックで奉仕団員を対象とした基礎研修を実施する
- ⑤ 新規奉仕団員の獲得及び赤十字会員の増強に努める

(ウ) 奉仕団の各種会議、研修会、訓練

令和7年度については、下記のとおり会議、研修会に参加した。

① 会議関係

開催日	名称（開催場所）	内容
7月3日(木)～ 7月4日(金)	赤十字奉仕団中央委員会 (東京本社)	本社主催、全国の奉仕団活動状況の情報共有となる会で、赤十字奉仕団高知県支部委員会委員長が出席。
12月12日(金)	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会 合同役員会（高知県支部多目的室）	当該年度の活動報告及び 次年度活動予定（案）
3月9日（月）	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会 合同総会（あんしんセンター3階 大 会議室）	当該年度の活動報告及び 次年度活動予定

② 行事・研修会関係

開催日	名称 (開催場所)	内容
4月26日(土)	赤十字運動月間啓発 パレード及びイベント (おまち多目的広場、 帯屋町アーケード街)	5月の赤十字運動月間に向けパレード実施 土佐女子中学・高校の吹奏楽部の先導により、JRCメンバー、教員、高知県青少年赤十字指導者協議会、賛助奉仕団、地域奉仕団、青年奉仕団など赤十字関係者約200名が帯屋町アーケードをパレード。 また、おまち多目的広場では「応急手当体験」「着ぐるみと記念撮影」「綿菓子無料配布」等のイベントも開催。
5月13日(火)	全国赤十字大会 (明治神宮会館)	参加者：日赤職員含め9名
6月1日(日)	高知県総合防災訓練 防災フェスティバル (高須浄水場)	防災フェスティバル内のブースにて、安全赤十字奉仕団による救急法の体験コーナーと地域奉仕団によるハイゼックスと大釜を使った炊き出しを実施。出来上がったおにぎりは、密封の状態で来場者へ配布した。 参加者：高知市の地域奉仕団9名、安全赤十字奉仕団4名
8月23日(土) ～ 8月25日(月)	赤十字ボランティア・ リーダー研修会 (本社)	本社開催。基礎研修会受講済みの奉仕団を対象としたリーダー研修会。 参加者：1名が参加
10月6日(月) ～ 10月7日(火)	中国・四国ブロック 赤十字奉仕団研修会 (大阪府支部・大阪関 西万博)	山口県支部主催で開催。今年は大阪関西万博が開催されたことから、研修先は大阪府で行われた。 参加者：地域奉仕団2名と職員1名
2月13日(金) ～ 2月15日(日)	赤十字奉仕団支部指導 講師研修会 (本社)	本社開催。赤十字ボランティア・リーダー研修会受講済みの奉仕団を対象とした研修会。 参加者：1名が参加



5月13日(火)
全国赤十字大会 (東京明治神宮会館)



6月1日(日)
高知県総合防災訓練 (高須浄水場)

③ 令和7年度 高知県赤十字奉仕団ブロック別研修会

10月から11月にかけて、奉仕団員等に赤十字について理解を深めてもらうための基礎研修を実施し、下記のとおり奉仕団員等 237 名が参加した。

ブロック名	開催場所	開催日時	参加者数
高知市ブロック	総合あんしんセンター大会議室	10月5日(火)	60名
中央東ブロック	香美市立中央公民館	10月10日(金)	44名
安芸ブロック	奈半利保健福祉センター	10月16日(木)	41名
高幡ブロック	健康保険福祉センター里楽	10月20日(月)	22名
中央西ブロック	すこやかセンター伊野	11月4日(火)	40名
幡多ブロック	黒潮町保健福祉センター	11月12日(水)	30名

研修内容

- ・赤十字この1年(令和6年度版 DVD 視聴)
- ・避難生活支援講習
- ・災害持ち出し袋について

④ 各地域での奉仕団活動

災害時にも使えるロープの使い方や炊き出しなど、支部と共同で地域の防災・減災力を高める活動を行った。

また、各地域のイベントにおいて、各地区分区事務局には、赤十字紹介パネルの掲示や募金箱設置にもご協力いただいた。

⑤ 特殊奉仕団との連携

香美市及び須崎市で高知県立盲学校の赤十字治療奉仕団3名がマッサージを行う治療奉仕を開催した。地元の地域奉仕団が会場設営や受付を行い、香美市、須崎市ともに24名の地域住民の方々にマッサージによる治療奉仕を実施した。



香美市 (7月11日)



須崎市 (9月11日)

イ 特殊奉仕団

自分の持っている特技や資格を活かして、苦しんでいる人に手を差し伸べたいという気持ちを持った人たちが組織された奉仕団であり、救急法等の講習指導を行う「安全赤十字奉仕団」、青少年赤十字活動を支援する「青少年赤十字賛助奉仕団」、防災・減災の知識や技術を普及し災害救護活動を支援する「赤十字防災奉仕団」などが活動している。

令和8年1月29日には、オブザーバーとして赤十字奉仕団高知県支部委員会委員長、高知県赤十字奉仕団活動推進協議会会長に参加いただき、連絡協議会総会を開催し、各団からの活動報告や今後の活動推進に向けた意見交換を行った。

(6) 高知県赤十字有功会との連携

ア 総会

・6月16日(月)、城西館で行い、有功会員22名が出席し、全議案について承認された。

- ① 令和6年度高知県赤十字有功会事業報告及び収支決算書について
- ② 令和7年度高知県赤十字有功会事業計画(案)及び同収支予算(案)
- ③ 特別講演:「万博と赤十字 ～日赤発祥の原点は万博にあり～」
(講師:日本赤十字社事業局副局長兼広報室長
大阪・関西万博 国際赤十字・赤新月運動館 岡山 晃久氏)

イ 全国赤十字紺綬有功会長総会

・10月3日(金)、佐賀県佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で行われ、高知県赤十字有功会長の西山彰一様にご出席していただいた。

ウ 理事会

・第1回は、3月26日(火)、総合あんしんセンター3階 中会議室で開催し、下記のことについて承認及び協議がなされた。

- ① 令和7年度事業経過報告及び収支決算(見込み)について
- ② 令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ③ 役員改選について

エ 研修旅行

・大阪・関西万博、野島断層保存館等の視察(1泊2日)で予定していたが、酷暑のため中止となった。

オ 支援事業 赤十字各施設に対して、下記の助成を行っていただいた。

施設	助成内容
高知県支部事務局	1 青少年赤十字事業に対して30万円を助成
高知赤十字病院	2 LEDライト付きボールペン1,500本(約10万円)を寄贈
高知県赤十字血液センター	3 啓発用卓上カレンダーの製作費用として10万円を助成



1 【青少年赤十字事業】



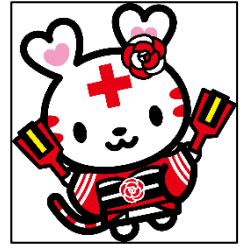
2 【LEDライト付きボールペン】



3 【卓上カレンダー】

(7) 赤十字事業啓発行事の推進**① 日本赤十字社創立 150 周年プロジェクト**

5月、ご当地ハートラちゃんのデザイン案を管内3施設の職員から募集し、12の提案があり、5月30日三施設業務連絡会議で上位2案を選出した。(その後、右のデザインに決定される。)



6月中旬～9月、「日赤の未来を創るアンケート」に地域奉仕団6名、青年奉仕団1名、特殊奉仕団2名の9名の方にご協力いただいた。

7月15日～16日、広島県支部開催の推進メンバー及び推進スタッフを対象としたワークショップに職員3名が参加した。

9月8日、高知赤十字病院で3施設合同ワークショップを開催し、職員29名が参加した。

12月14日、本社開催の赤十字関係者対象のワークショップに会員1名及び奉仕団員1名に参加していただいた。

② 2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)

令和7年4月13日から10月13日の間、大阪市夢洲(ゆめしま)で開催された大阪・関西万博に、国際赤十字・赤新月運動館(赤十字パビリオン)の運営スタッフとして、奉仕団員3名を派遣した。



	派遣期間	派遣者
1	4月22日から4月26日までの5日間	いの町赤十字奉仕団員1名
2	6月21日から6月25日までの5日間	高知市赤十字奉仕団員1名
3	9月24日から9月28日までの5日間	高知県安全赤十字奉仕団員1名

③ 赤十字運動月間啓発活動

5月の赤十字月間に合わせて4月26日(土)に赤十字運動月間啓発パレード及びイベントを実施。

また、例年どおり各市町村でのポスター掲示や支部広報誌「ふれあい」、チラシの各戸配布、本社提供のテレビ・ラジオCMを放送した。また、高知城下のお堀沿いに啓発用の登旗を5月末まで設置し、赤十字を広くPRした。



4月26日(土)
赤十字運動月間啓発パレード及びイベント



お堀沿いの登旗

④ 世界赤十字デー

5月8日は、世界初のノーベル平和賞受賞者であり、赤十字の創設者であるアンリー・デュナンの誕生日にちなみ、「世界赤十字デー」として制定。全国のランドマーク施設を赤十字のシンボルカラーである赤色に染める「レッドライトアッププロジェクト」を展開しており、高知城を赤色でライトアップした。



5月8日(木)
赤色にライトアップされた高知城

⑤ 全国赤十字大会

令和7年5月13日(火)日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、名誉副総裁である秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃華子殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃久子殿下のご臨席を仰ぎ、令和7年全国赤十字大会が明治神宮会館(東京都渋谷区)で開催された。高知県支部からも8名の方にご参会いただいた。

⑥ 日本赤十字社有功章等伝達式及び支部長表彰式

10月15日、高知赤十字病院にて、活動資金の募集及び協力に対する功労を称えるため、日本赤十字社有功章等の伝達式及び支部長表彰式が執り行われた。

ア 令和7年度 日本赤十字社有功章等受章者

(ア) 活動資金功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰品等	表彰者数
社長 感謝状	金色有功章受章後さらに50万円以上に達した都度個人・法人	社長感謝状(賞状)	個人2人 法人1社
金色 有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で50万円以上に達した個人・法人	個人:金色有功章(賞状)・章記 法人:金色有功章(楯式)	個人2名 法人9社
銀色 有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で20万円以上に達した個人・法人	銀色有功章(楯式)	個人8名 法人22社
支部長 感謝状	活動資金が一時又は累計で10万円以上に達した個人・法人	支部長感謝状(賞状)	個人10名 法人15社
合計			個人22名 法人47社

(イ) 令和7年度 支部長表彰受章者

活動資金募集奉仕勤続10年以上の個人（表彰状贈呈）

（地区）高知市8名、南国市6名、土佐清水市1名

（分区）奈半利町1名、佐川町1名 以上17名

活動資金目標達成率120%以上の地区分区（表彰状贈呈）

（地区）対象地区なし

（分区）室戸市（吉良川、羽根）南国市（上倉北部、上倉南部、岡豊、長岡東部、岩村、稲生、三和）宿毛市（橋上、平田）安芸（奈半利町、北川村）高幡（津野町） 以上14分区

活動資金目標達成率100%以上の地区分区（感謝状贈呈）

（地区）安芸 中央東 以上2地区

（分区）高知市（初月、大津、鏡）室戸市（佐喜浜）安芸市（穴内、井ノ口、土居、伊尾木、下山）香南市（香我美町、夜須町）南国市（瓶岩、野田、日章、前浜、後免）土佐市（波介）須崎市（吾桑）四万十市（富山）宿毛市（小筑紫）土佐清水市（半島）安芸（田野町、馬路村）中央東（大豊町、本山町、大川村） 以上26分区



【有功章等受章者】



【謝辞を述べる受章者代表】



【支部長表彰受章者】



⑦ 防災・減災プロジェクト（各種イベント等）

9月7日（日）イオンモール高知2階のイオンホールで、赤十字防災・減災イベントを実施し、300名を超える来場があり、赤十字活動をPRした。

- ・ AEDの使い方を知ろう（安全赤十字奉仕団）
- ・ ガレキ踏み体験してみよう（株式会社フタガミホームセンター様）
- ・ 体験型ゲーム「防災リュックについて考えよう！」（高知県青少年赤十字高校生連合会）
- ・ 避難生活でのリラクゼーションを知ろう（高知市赤十字奉仕団）
- ・ 災害用トイレや非常食を知ろう（株式会社中村防災サービス様）
- ・ 災害時の救護活動を知ろう（高知赤十字病院）
- ・ 献血バスもやっています!!（高知県赤十字血液センター）
- ・ 子ども救護服を着て救護員に変身!
- ・ 赤十字キャラクターと一緒に写真を撮ろう



AEDの使い方を知ろう



体験型ゲーム「防災リュックについて考えよう！」

10月4日（土）、5日（日）、株式会社技研製作所様主催の「防災フェスタ」に参加し、香南市赤十字奉仕団による炊き出しの配付や安全赤十字奉仕団による人形を使った救急法やラップを使った応急手当の仕方、また、子ども救護服体験や救急車の展示を行った。



香南市赤十字奉仕団の皆様



安全赤十字奉仕団によるAEDの使い方

令和8年3月、本社が主催する災害に備える活動「ACTION! 防災・減災」キャンペーンを実施し、県内の法人有功会員やサポーター企業に本キャンペーンを広く周知していただくことをお願いした。

また、本社特設サイトへ協力企業としての法人ロゴの掲載や、法人ホームページへ本キャンペーンのバナー登録を行っていただくなど協力をいただいた。

令和8年2月21日（土）、22日（日）の2日間、東洋電化中央公園で、RKC高知放送様主催の「すこやかWinter」※に参加し、安全赤十字奉仕団による子どものケガに対する応急手当やAEDの使い方、高知市赤十字奉仕団による子ども救護服体験や救急車の展示を行った。

（※）RKC高知放送様の社会貢献キャンペーン「子育て応援団」の一環として行うファミリー向けイベント



救急車の前での記念撮影



人形を使って胸骨圧迫を習う子どもたち

4 会員の増強と活動資金の募集

(1) 会員概要

○ 令和7年度赤十字会員数

	個人	法人	合計
令和3年度	1,122	602	1,724
令和4年度	1,179	1,478	2,657
令和5年度	1,698	1,159	2,857
令和6年度	1,621	1,005	2,626
令和7年度	1,120	908	2,028

※令和3年度以前は地区区分からの報告数。4年度から会員システムによる会員数。

(2) 活動資金募集状況

令和7年度の実績額は96,468千円で、目標額の1億円に対して達成率は96.5%となっている。過去5年間の中では令和6年度に次ぐ状況となった。

特殊要因としては、1,000千円以上の高額寄付2件2,000千円と病院指定寄付が5件9,000千円あった。

○ 令和7年度の活動資金実績

	一 般	法 人	合 計
目 標 額	73,702,000 円	26,298,000 円	100,000,000 円
実 績 額	77,885,159 円	18,583,642 円	96,468,801 円
目標額達成率	105.8%	70.7%	96.5%

(※ 地区区分別の実績は39頁参照)

(※ 指定、高額寄付を含む)

<参考>過去5年間の活動資金実績

	一 般	法 人	合 計
令和2年度	74,339,902 円	17,284,794 円	91,624,696 円
令和3年度	68,798,749 円	17,967,886 円	86,766,635 円
令和4年度	73,251,810 円	19,596,330 円	92,848,140 円
令和5年度	67,792,878 円	19,494,477 円	87,287,355 円
令和6年度	83,347,655 円	29,071,909 円	112,419,564 円

(※ 指定、高額寄付を含む)

(3) 企業・法人の理解促進

DMは本年度3回、約10,500通の発送を行った。

1回目は、従来の協力者に引き続きの協力を依頼するため、5月の赤十字運動月間を中心に各地区・分区の協力を得ながら約5,500通を発送した。

2回目は、個人会員の新規協力者の獲得を目的に、過去に義援金や海外たすけあいなど赤十字を通じた寄付の経験者を主な対象として11月に約2,500通を発送した。

3回目は、新規協力者の獲得を目的に、本社から提供された法人データを主な対象として2月に約2,500通を発送した。

(4) 個人会員の拡大

個人会員の新規協力者の獲得を目的に、赤十字講習受講者や災害義援金・救済金の寄付者等へのDMを発送するとともに、クレジットカードなどの利便性の高い寄付方法を周知し、活動資金への協力を依頼した。

また、寄付協力者に対してお礼状を発送したほか、会員への定期的かつ積極的な情報提供を強化するため、令和2年から当社が作成する全国統一会員誌の活用を開始しており、令和7年度も同会員誌による情報提供を県内会員に対し行った。

(5) 遺贈・相続財産等への取組み

高知県支部が「遺贈」や「相続財産による寄付」の受け入れ団体であることを周知するため、司法書士会、行政書士会、金融機関等に協力依頼を行うとともに、遺贈等について分かりやすく説明したパンフレットを持参するなど積極的な情報発信を行った。

(6) 広報活動の強化

支部広報紙「ふれあい」は4月 32,500部（前年 32,000部）、10月 19,000部（前年 19,000部）を作成し地区・分区を通じて地域住民に配布したほか、会員、奉仕団、講習会の参加者、献血協力者、管内施設利用者などに配布した。

5月、テレビ及びラジオにて赤十字のCM放送を流すとともに、8月にも赤十字活動について、テレビ放送し活動資金への協力を呼び掛けた。

インターネットメディアやマスメディアの活用

赤十字の活動を広く知ってもらうため、ホームページだけでなく、令和6年度からは公式 SNS（X、Instagram）を開設し、活動の様子を掲載するようにした。また、マスメディアにもその都度プレスリリースを流し、テレビや新聞等を通じて、広く県民に赤十字を知ってもらうように努めた。

○ ホームページ等への掲載状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ホームページ	20回	27回	35回
X	—	13回	20回
Instagram	—	13回	22回

5 評議員会、アドバイザー会議

(1) 評議員会

- ・ 6月3日（火）総合あんしんセンター3階大会議室において、7年度第1回が開催され令和6年度の事業報告及び歳入歳出決算について承認された。
- ・ 2月6日（金）高知赤十字病院4階ホールにて、7年度第2回が開催され令和8年度の事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について承認された。

(2) アドバイザー会議

- ・ 第1回は、5月27日（火）高知県支部多目的室にて、令和6年度の事業報告及び収支決算を基に、支部を取り巻く環境の変化によりよく対応するため、取り組むべき方向性や課題について検討がなされた。
- ・ 第2回は、1月29日（木）高知県支部多目的室にて、令和7年度12月までの事業報告及び収支決算見込み及び令和8年度の事業計画案や収支予算を基に今後の対応や取り組みの検討がなされた。

6 決算概要

令和7年度 一般会計歳入歳出決算概算書

(単位：千円)

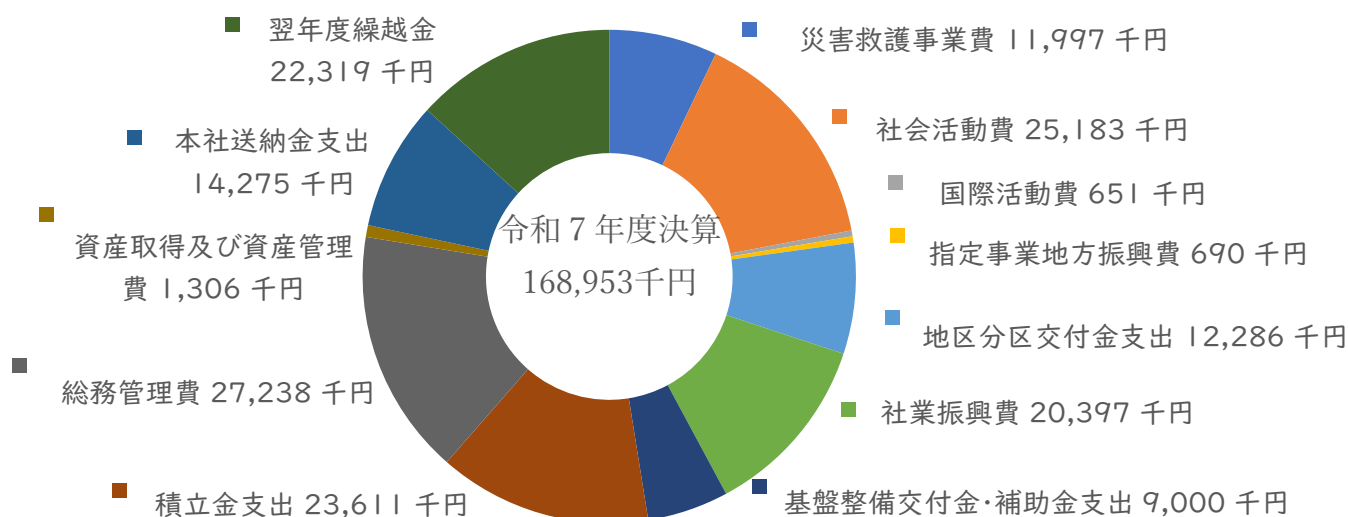
歳入

科目	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	対前年増減
活動資金収入	96,559	112,419	△ 15,860
委託金等収入	338	2,750	△ 2,412
補助金及び交付金収入	16,648	16,412	236
繰入金収入	759	16,542	△ 15,783
資産収入	8,197	2,811	5,386
雑収入	6,635	6,431	204
前年度繰越金	39,817	50,258	△ 10,441
歳入計	168,953	207,623	△ 38,670

歳出

災害救護事業費	11,997	12,971	△ 974
社会活動費	25,183	21,713	3,470
国際活動費	651	542	109
指定事業地方振興費	690	800	△ 110
地区分区交付金支出	12,286	12,043	243
社業振興費	20,397	19,709	688
基盤整備交付金・補助金支出	9,000	650	8,350
積立金支出	23,611	4,279	19,332
総務管理費	27,238	26,965	273
資産取得及び資産管理費	1,306	51,586	△ 50,280
本社送納金支出	14,275	16,548	△ 2,273
歳出計	146,634	167,806	△ 21,172

歳入歳出差引(翌年度繰越額)	22,319	39,817	△ 17,498
----------------	--------	--------	----------



【令和7年度 地区区分別活動資金実績】

地区区分名	項目	目標額			令和7年度実績額				前年度比				令和6年度決算額		
		一般	法人	合計	一般	法人	合計	目標額達成率	一般	法人	合計	合計			
		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)			
1	高知市	19,512,000	6,612,000	26,124,000	20,011,137	6,708,802	26,719,939	102.3%	2,724,582	115.8%	117,304	101.8%	2,841,886	111.9%	23,878,053
2	室戸市	1,304,000	200,000	1,504,000	1,281,550	126,000	1,407,550	93.6%	△ 112,100	92.0%	37,000	141.6%	△ 75,100	94.9%	1,482,650
3	安芸市	2,821,000	300,000	3,121,000	2,194,145	391,100	2,585,245	82.8%	△ 213,032	91.2%	△ 74,400	84.0%	△ 287,432	90.0%	2,872,677
4	香南市	3,985,000	424,000	4,409,000	3,608,200	291,000	3,899,200	88.4%	69,000	101.9%	△ 105,500	73.4%	△ 36,500	99.1%	3,935,700
5	香美市	2,324,000	326,000	2,650,000	1,792,622	283,000	2,075,622	78.3%	△ 145,952	92.5%	△ 5,000	98.3%	△ 150,952	93.2%	2,226,574
6	南国市	5,428,000	949,000	6,377,000	4,720,191	1,709,500	6,429,691	100.8%	△ 315,184	93.7%	803,500	188.7%	488,316	108.2%	5,941,375
7	土佐市	2,691,000	461,000	3,152,000	2,308,804	109,000	2,417,804	76.7%	△ 108,752	95.5%	24,000	128.2%	△ 84,752	96.6%	2,502,556
8	須崎市	2,424,000	416,000	2,840,000	1,950,800	383,000	2,333,800	82.2%	△ 79,800	96.1%	123,000	147.3%	43,200	101.9%	2,290,600
9	四万十市	2,849,000	734,000	3,583,000	2,373,950	302,000	2,675,950	74.7%	△ 142,335	94.3%	△ 119,297	71.7%	△ 261,632	91.1%	2,937,582
10	宿毛市	2,152,000	395,000	2,547,000	1,998,280	314,896	2,313,176	90.8%	△ 35,691	98.2%	119,896	161.5%	84,205	103.8%	2,228,971
11	土佐清水市	1,495,000	179,000	1,674,000	1,322,813	113,000	1,435,813	85.8%	△ 82,374	94.1%	△ 17,000	86.9%	△ 99,374	93.5%	1,535,187
12	安芸(合計)	2,321,000	258,000	2,579,000	2,068,299	535,000	2,603,299	100.9%	△ 38,072	98.2%	△ 3,000	99.4%	△ 41,072	98.4%	2,644,371
13	東洋町	233,000	37,000	270,000	182,700	0	182,700	67.7%	△ 20,900	89.7%	0	-	△ 20,900	89.7%	203,600
14	奈半利町	346,000	53,000	399,000	356,930	186,000	542,930	136.1%	21,830	106.5%	7,000	103.9%	28,830	105.6%	514,100
15	田野町	401,000	48,000	449,000	371,300	88,000	459,300	102.3%	7,000	101.9%	△ 3,000	96.7%	4,000	100.9%	455,300
16	安田町	364,000	38,000	402,000	282,500	95,000	377,500	93.9%	△ 18,400	93.9%	△ 5,000	95.0%	△ 23,400	94.2%	400,900
17	北川村	223,000	9,000	232,000	206,500	91,000	297,500	128.2%	7,360	103.7%	△ 2,000	97.8%	5,360	101.8%	292,140
18	馬路村	194,000	17,000	211,000	178,500	65,000	243,500	115.4%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	243,500
19	芸西村	560,000	56,000	616,000	489,869	10,000	499,869	81.1%	△ 34,962	93.3%	0	100.0%	△ 34,962	93.5%	534,831
20	中央東(合計)	1,827,000	230,000	2,057,000	1,619,508	431,000	2,050,508	99.7%	△ 59,550	96.5%	9,000	102.1%	△ 50,550	97.6%	2,101,058
21	大豊町	729,000	73,000	802,000	686,850	79,000	765,850	95.5%	△ 35,855	95.0%	△ 18,000	81.4%	△ 53,855	93.4%	819,705
22	本山町	539,000	71,000	610,000	501,237	120,000	621,237	101.8%	△ 4,116	99.2%	2,000	101.7%	△ 2,116	99.7%	623,353
23	土佐町	480,000	82,000	562,000	365,600	212,000	577,600	102.8%	△ 26,100	93.3%	30,000	116.5%	3,900	100.7%	573,700
24	大川村	79,000	4,000	83,000	65,821	20,000	85,821	103.4%	6,521	111.0%	△ 5,000	80.0%	1,521	101.8%	84,300
25	中央西(合計)	5,820,000	739,000	6,559,000	5,324,567	168,000	5,492,567	83.7%	△ 30,356	99.4%	△ 105,000	61.5%	△ 135,356	97.6%	5,627,923
26	いの町	2,094,000	335,000	2,429,000	1,963,943	73,000	2,036,943	83.9%	△ 61,847	96.9%	△ 10,000	88.0%	△ 71,847	96.6%	2,108,790
27	仁淀川町	946,000	89,000	1,035,000	785,905	95,000	880,905	85.1%	22,393	102.9%	△ 95,000	50.0%	△ 72,607	92.4%	953,512
28	佐川町	1,391,000	144,000	1,535,000	1,304,860	0	1,304,860	85.0%	△ 16,177	98.8%	0	-	△ 16,177	98.8%	1,321,037
29	越知町	795,000	77,000	872,000	703,609	0	703,609	80.7%	△ 25,875	96.5%	0	-	△ 25,875	96.5%	729,484
30	日高村	594,000	94,000	688,000	566,250	0	566,250	82.3%	51,150	109.9%	0	-	51,150	109.9%	515,100
31	高幡(合計)	4,090,000	514,000	4,604,000	3,936,050	20,000	3,956,050	85.9%	77,350	102.0%	△ 15,000	57.1%	62,350	101.6%	3,893,700
32	中土佐町	899,800	92,520	992,320	797,200	0	797,200	80.3%	33,500	104.4%	0	-	33,500	104.4%	763,700
33	四万十町	2,085,900	292,980	2,378,880	1,832,250	0	1,832,250	77.0%	41,150	102.3%	0	#DIV/0!	41,150	102.3%	1,791,100
34	梶原町	449,900	61,680	511,580	409,300	10,000	419,300	82.0%	△ 12,600	97.0%	10,000	#DIV/0!	△ 2,600	99.4%	421,900
35	津野町	654,400	66,820	721,220	897,300	10,000	907,300	125.8%	15,300	101.7%	△ 25,000	28.6%	△ 9,700	98.9%	917,000
36	幡多(合計)	1,681,000	145,000	1,826,000	1,373,613	150,000	1,523,613	83.4%	△ 36,312	97.4%	△ 21,000	87.7%	△ 57,312	96.4%	1,580,925
37	黒潮町	749,000	113,000	862,000	543,063	150,000	693,063	80.4%	△ 7,742	98.6%	△ 11,000	93.2%	△ 18,742	97.4%	711,805
38	大月町	669,000	69,000	738,000	591,600	0	591,600	80.2%	△ 30,800	95.1%	0	-	△ 30,800	95.1%	622,400
39	三原村	239,000	17,000	256,000	238,950	0	238,950	93.3%	2,230	100.9%	△ 10,000	0.0%	△ 7,770	96.9%	246,720
40	【地区合計】	62,724,000	12,882,000	75,606,000	57,884,529	12,035,298	69,919,827	92.5%	1,471,422	102.6%	768,503	106.8%	2,239,925	103.3%	67,679,902
41	支 部	10,978,000	13,416,000	24,394,000	20,000,630	6,548,344	26,548,974	108.8%	△ 6,933,918	74.3%	△ 11,256,770	36.8%	△ 18,190,688	59.3%	44,739,662
42	【総合計】	73,702,000	26,298,000	100,000,000	77,885,159	18,583,642	96,468,801	96.5%	△ 5,462,496	93.4%	△ 10,488,267	63.9%	△ 15,950,763	85.8%	112,419,564

(以下、再掲)

参 考	100万以上 高額寄付 (ア)				2,000,000	0	2,000,000		△ 14,178,476	12.4%	△ 11,000,000	0.0%	△ 25,178,476	7.4%	27,178,476
	病院指定 寄付金(イ)				8,500,000	500,000	9,000,000		7,850,000	1307.7%	500,000	-	8,350,000	1384.6%	650,000
	(ア)(イ)除く 総合計				67,385,159	18,083,642	85,468,801	85.5%	865,980	101.3%	11,733	100.1%	877,713	101.0%	84,591,088
	(ア)(イ)除く 支部合計				9,500,630	6,048,344	15,548,974	63.7%	△ 605,442	94.0%	△ 756,770	88.9%	△ 1,362,212	91.9%	16,911,186